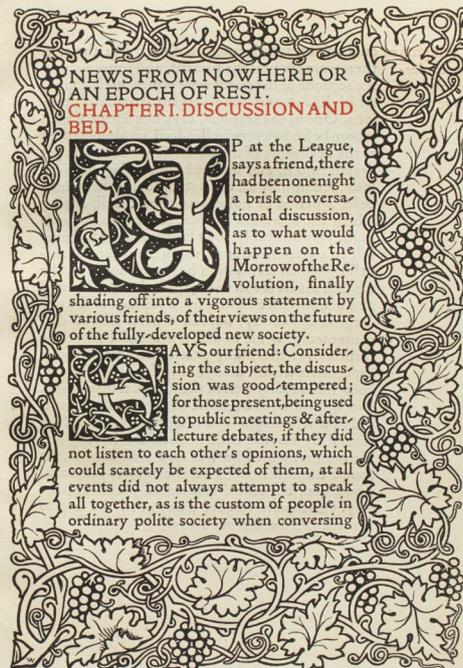


THIS IS THE PICTURE OF THE OLD HOUSE BY THE THAMES TO WHICH THE PEOPLE OF THIS STORY WENT. HEREAFTER FOLLOWS THE BOOK ITSELF WHICH IS CALLED NEWS FROM NOWHERE OR AN EPOCH OF REST & IS WRITTEN BY WILLIAM MORRIS.



NEWS FROM NOWHERE OR AN EPOCH OF REST. CHAPTER I. DISCUSSION AND BED.

At the League, says a friend, there had been onenight a brisk conversational discussion, as to what would happen on the Morrow of the Revolution, finally shading off into a vigorous statement by various friends, of their views on the future of the fully-developed new society.

AYS our friend: Considering the subject, the discussion was good-tempered; for those present, being used to public meetings & after-lecture debates, if they did not listen to each other's opinions, which could scarcely be expected of them, at all events did not always attempt to speak all together, as is the custom of people in ordinary polite society when conversing

〈ケルムスコット・プレス〉それは晩年のウィリアム・モリスが理想の書物を生み出した夢の印刷工房です。

生涯最後の数年、モリスは書物作りにいそみしました。彼が作ったのは、大量生産品としての書物ではなく、中世以来の手工芸品としての書物であり、敬愛する文学作品を理想のデザインで現出させた総合的な芸術品でした。

本アカデミーでは、モリスが書物作りに取り組んだ背景を理解するために、まず中世から近代までの出版文化史を振り返ります。その後に、モリスが書物に選んだ作品の中から、ジョン・キーツ等、ロマン派の詩人の名詩を紹介し、モリスがこれらの作品に見出した魅力を探ります。

ウィリアム・モリス 《ユートピア便り》 1892年

どなたでも参加できる美術館を活用した茨城大学の学外授業

令和7年度 美術館アカデミー

ウィリアム・モリスと理想の書物

—ケルムスコット・プレスの名詩の園—



講師 小林 英美 氏 (茨城大学教育学部 教授)

日時 2025年5月18日 (日)

会場 茨城県近代美術館 地階講堂

午後2時～3時30分

定員 250名 (申込不要、参加無料)

(受付は午後1時30分～)

《講師紹介》

専門はイギリスの文学と歴史・文化で、特に19世紀前後のロマン派文学と読者、同時代の出版文化との相互関係を研究している。主要な著書に『ワーズワスとその時代—『リリカル・バラッズ』と読者たち』(2015)、『読者ネットワークの拡大と文学環境の変化—19世紀以降にみる英米出版事情』(2017)他がある。

ウィリアム・モリス 《いちご泥棒》 1883年

企画展情報

「アーツ・アンド・クラフツとデザイン

ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」

2025年4月19日(土)～6月29日(日)

茨城県近代美術館

当イベントのお問合せ先:美術館アカデミー係

Tel:029-243-5111 E-mail: academy@modernart.museum.ibk.ed.jp



イベント情報ページ

掲載図版は、企画展「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」の出品作。いずれも Photo © Brain Trust Inc.